

尿路結石治療

可能な限り体外衝撃波結石破碎術を行い、
不可能な症例でも内視鏡治療を中心

“切らずに治す”



腎結石から膀胱尿道結石まで、すべての尿路結石症に対応

最新機器導入

結石治療にかかる内視鏡機器から体外衝撃波結石破碎装置(ESWL)まで最新機器を取り揃えております。

結石の位置や大きさ、患者さんのライフスタイルに応じた治療提供

術後の痛みを少なく抑え、術前と変わらない社会生活リズムへスムーズに戻っていた
だけがよう努めています。尿路結石症の治療でお困りの際は、当科へご相談下さい。

治療の選択

結石5mm以下

自然に排石される可能性が高いため、排石を促す薬物治療

結石5mm以上

体外衝撃波碎石術(ESWL)や内視鏡治療(TUL, f-TUL)

治療方法は、病態(結石の位置、大きさなど)や患者さんの状況により変わります。また、複数の方法を組み合わせて行われる場合もあります。当科ではあらゆる尿路結石症治療に対応しております。



～治療の種類～

体外衝撃波結石破碎術

(Extracorporeal Shock Wave Lithotripsy:ESWL)

一般的には麻酔を必要とせず、体外から衝撃波エネルギーを当てて結石を砂状に粉碎し、碎石片を尿とともに尿管・膀胱経由で体外に排出させる治療です。

当院では、**患者さんのニーズに合わせ日帰り手術**にも対応しています。結石の大きさや硬さにより1回の治療では終わらない場合もありますが、その際には数週間後に2回目以降の治療を行います。

メリット

- ・低侵襲で安全性が高く、副作用や後遺症の心配はほとんどありません。
- ・腎から尿管まで、結石の場所を問わず治療可能です。
- ・1回の治療時間は約1時間と比較的短くて済みます。

経尿道的尿管碎石術

(Transurethral Ureterolithotripsy:TUL,f-TUL)

内視鏡(硬性あるいは軟性尿管鏡)を尿道から挿入し、内視鏡の先端を尿管あるいは腎孟内の結石にまで導き、結石を直接観察しながら結石を破碎し、破碎された結石を体外に摘出する手術方法です。破碎には細い内視鏡でも使用でき、硬い結石でも破碎効果の高いホルミウム・ヤグレーザーを用います。

早期に”結石フリー”が可能となる手術方法です。

直接結石を確認しながら、レーザーを用いて破碎された結石をバスケットカテーテルで回収するため、**尿路結石を安全かつ確実に破碎・回収する根治性の高い治療法**です。

当科では内視鏡の径がさらに細くなり、可動域が大きくなった最新式の軟らかい内視鏡(細径軟性尿管鏡)を用いることにより、尿管結石だけではなく、腎臓内の奥深く狭い場所(腎杯)に挟まっている結石まで治療が可能な治療法(f-TUL)を実施しています。

メリット

- ・安全かつ確実に破碎・回収する根治性の高い治療法です。
- ・ダスティング(粉状碎石)の機能も強力で、結石が跳ねず出血が少量で済みます。
- ・軟性尿管鏡を用いることで、観察範囲が腎臓内まで可能となっています。

経皮的腎尿管碎石術

(Percutaneous Nephrolithotripsy:PNL)

結石のサイズが大きく(およそ20mm以上)、自然排出が困難であり、経尿道的腎尿管碎石術でも除去が困難なことが予測される場合に行います。

背中から超音波で観察しながら腎臓内まで針を刺し、針穴を6-10mmほどまで広げ筒を挿入します(腎瘻造設)。特殊な内視鏡(腎孟鏡)をその筒から腎臓内に入れ、腎臓や尿管の結石をレーザーや専用の装置で砕き、体外へ除去します。

メリット

- ・大きな結石をたくさん取り出すことができます。
- ・結石が硬くても治療効果を期待できます。